

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

共に夢を語り合い自信を持って行動しよう。

30th. ANNIVERSARY

7



熱闘!! ペーロン

社団法人
長崎青年協会

発行●(社)長崎青年協会 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階 会長 和田正信 編集●広報委員会 広報委員長 野島徹也

会長あいさつ

会長 和田正信

今年度スローガン 「共に夢を語り合い自信を持って行動しよう」



会員の皆様におかれましては、6月の事業である厄入の儀及び厄入懇親会、長崎の伝統であるペーロンを留学生と市民の集いとして体験していただき、そして相互扶助の精神と会員家族の親睦を行なつた、家族懇親会イン高島と大変おつかれさまでした。

いよいよ協会活動も7月に入り、7月25日、26日には、ながさきみなとまつりが行なわれます。青年協会のこだわりである。少しでもきれいな長崎港を合言葉に、市民の方々に海に飛び込んでもらい、目で見て肌で感じていただきたいと思います。

又、26日はペーロン選手権の職域対抗で、協会とし参戦しようと思います。会員全員の団結が必要となりますので、ぜひ参加して下さい。

最後になりましたが、7月は100%例会となっております。協会員にとって、例会とは義務であり、権利であると思います。仕事等で、いそがしい事とは思われますが、ぜひ出席していただきますようお願いいたします。

6月定時例会



今回の講師講演は、松尾豊明OBによる「ビジネスマナーのあれこれ」をテーマに講演が行なわれました。松尾OBは昭和62年卒業された為、現会員のみなさんは同時に在籍された方は少ないかと思います。

さてお話の内容は、○ジャケットのボタンをかけての応対、○上座・下座の位置のわきまえ方、○名刺の渡し方、などなど。

ビジネスマナーに限らず私生活の中でも大切な事だと思いますが、みなさんは、出来ているでしょうか？

時間があれば、まだお話をされたかったと思いますが、松尾OB、興味あるお話をどうもありがとうございました。

次いで、地域活性委員会のみなとまつりに向けての熱血宣言が行なわれました。みんな一丸となって頑張りましょう!!

そして、お楽しみの3分間スピーチは時間切れの為、前回に引き続き、またまたおあづけ……チャンチャン！



講師 松尾OB

2次懇親会：「ぐるめ懇親会 in JUNE」



時は平成10年6月22日の月曜日、場所は銅座町「ムーン・シャイン」。乾杯の音頭を愉快な吉田副会長のもとに懇親会を始めました。少し暗め（明かりが）の店内で食事を（ガツガツ！）しながらビールを（ガバガバ!!）飲む光景は正に獣。料理が来ると瞬く間にお皿は空っぽに!!。次の料理が来るまでに密談や談合・悪巧みを交わす狼もいたかもしれません、皆さん、楽しげ（怪しげ）に懇親していた模様です。次回の会場は元船町「平安閣シティホール」を予定しています。7月の例会時といえば夏真っ盛り、ビールをガバガバ飲んで騒ぎましょう。懇親会は皆で“ワイワイ・ガヤガヤ・ガツガツ・ゴクゴク”する方がとても楽しいと思いますので次回も是非参加下さい！。ウォーン!!。（後記：しかしこの記事では「どの辺がぐるめ」なのか分からぬ。その辺り研究の要有利ト認ム。）

by 真似合通垢・I

「ちょっと聞いて良かですか？」

6月の例会に出席した会員45名に聞きました。

45
55

Q 1. 最近、問題の環境ホルモンですが、危機感を感じていますか？

- A. 身近で感じている 13人
- B. 他人事だが感じている 16人
- C. 感じない 7人
- D. それって何？ 7人

Q 2. 外国語で会話ができますか？

- A. 話せる 3人
- B. したことだが話せる 14人
- C. 話せない 26人
- A・Bの人は何語ができますか（英語・韓国語・タガルグ語） D. その他 (a little)

Q 3. ビッグヒットになった映画、『タイタニック』見に行きましたか？

- A. 見に行った 7人
- B. まだ行ってない 35人
- C. その他 2人

Q 4. ワールドカップサッカー 日本戦、観戦しましたか？

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 『VSアルゼンチン』 63.7% NHK調べ | 『VSクロアチア』 60.9% NHK調べ |
| A. 見た 41人 | A. 見た 40人 |
| B. 見ていない 3人 | B. 見ていない 4人 |

Q 5. 次年度は、どんな役職、又はどの委員会につきたいですか？

- A. 会長 3人
- B. 副会長 1人
- C. 会員室長 1人
- D. 事務局長 2人
- E. 委員長 0人
- F. どこかの副委員長 1人
- G. 研修・例会委員会 各1人
- H. 事務局員 3人
- I. 監事 5人
- J. なんでもいい 17人
- K. 無回答 3人

Q 6. 会員に投げかけたい質問があればお書きください。

- がんばろ なっ
- なぜ、青年協会に来るのか
- なぜ出てこない
- 例会に参加しましょう
- もっと新人紹介!!
- みんな出てこんね!!
- 熱くなろうぜ!!青年協会
- 「長崎時間」を考え直そう
- 今一番燃えていることは何？
- 事務局活用・会費プロジェクトの内容覚えていますか？
- 事務局のエレベーターを夜でも使えるようにしてください
- 回を追うごとにGood Questionですね
- 例会及び、委員会に出席しない会員は退会させればと思う

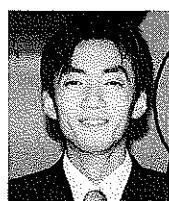
僕ら、NYAの金のタマ～ゴです!!

6月の理事会に於いて、1人の入会が決まった。

※新入会員は、金の卵です。みんなで大切に育てましょう。（研修開発 松島健二）

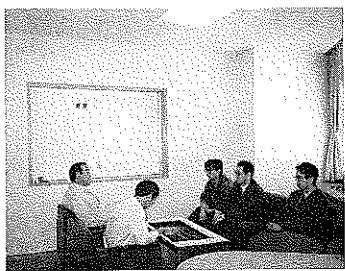


氏 名：中尾 仁君
 生年月日：S47.7.2
 勤務先：寿し割烹 仁
 趣味：スポーツ
 自己PR：明るく元気だけがとりえですが、よろしくお願いします。

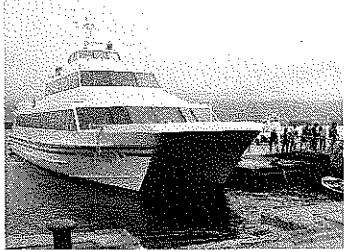


6月号で紹介されました、
 達木 正則です
 よろしく。

家族懇親会 in 高島 '98.6.14 (日)



高島町役場との打ち合わせ



コバルトクイーンⅡ

時間、雨の日は体育館でbingoばさせとけ、簡単によかやっか」の声も聞こえていたが、それから委員会で何度も高島まで足を運び下見を行い造り込んでいく中で、「みんなが楽しむ為にやらされている」と言う考えが「自分たちの企画で、みんなに楽しんでもらいたい」と意識が変わってきたように感じた。まず委員長はOBの多数の参加を募るため4月のOB会に潜入ゲリラ攻撃に打って出たが飲みすぎてあえなく自爆、某スナックで屁と化していた、さてOBはゲット出来たのだろうか……？さて本番前日は夜中までかけての資料作り、アトラクション用のゲームの備品もすべて手作りだ。この頃になると委員会としても明日を思い楽しんでいるようだった。さて高島に着いてから早速オリエンテーリングが開始となった。ポイントを回りながらクイズ形式で解答していくというもので、走り回る子供たちにつられどのチームも島内を一周したようだった。なかでも高島の頂上にある展望台から見る360度パノラマの景色は素晴らしいかった。でもさすがにみんなへとへとになっていた。オリエンテーリングの途中で島のお巡りさんに「勝手に旗をたつんな!!」とかなり怒られた。これはちゃんと役場の許可はもらっておりお巡りさんにも連絡が行くはずだったが……役場の人も交えて話したところすぐに和解は出来た。いよいよ昼食の時間だが実はお弁当の発注でも行き違いがあり、「朝から発注されても……雨で中止かと……

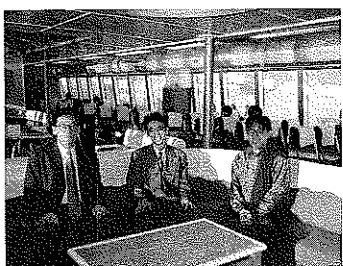


宝探し



お疲れさんゴールです

梅雨の真っ只中、今にも降り出しそうな空の下行われた今回の家族懇親会、コバルト・クイーンⅡで大波止ターミナルを出発。女神を過ぎた辺りからかなりスピードに乗って、さすが高速艇わずか30分ほどで高島に到着。しかしごろに着いた高島も本番当日まで委員会のメンバーの道のりは長かった。まずは理事会において委員会の思いが伝わらず、当初の企画は振り出しに戻る。そして新たな企画も内容より予算組みでかなりもめた。日程も小・中の運動会と重なるところから6月に変更せざるをえなくなった。この時点では委員長をはじめ委員会のメンバーのやる気がだいぶん失せている様に見えた……。はじめは、「午前中オリエンテーリングばさせて午後から自由



早朝から下見に出掛ける3人



オリエンテーリング



なかなか見つからんばい



ハイポーズ



ストラックアウト

の途中で島のお巡りさんに「勝手に旗をたつくな!!」とかなり怒られた。これはちゃんと役場の許可はもらっておりお巡りさんにも連絡が行くはずだったが……役場の人も交えて話したところすぐに和解は出来た。いよいよ昼食の時間だが実はお弁当の発注でも行き違いがあり、「朝から発注されても……雨で中止かと……



ミセス馬見塚



うまかばい

材料の手配もあるし……」と、電話の向こうでおばあちゃん。なに！お弁当が出来ない！と委員会一同真っ青……しかし「いいですよ……つくります」と、ちょっと小言を言われたが事無きを得た。午後から子供たちは「宝探し」大人たちは「ストラップアウト」どちらもかなり盛り上がっていた、いや大人たちはむきになっていた、又のぼせて海に飛び込んだ奴もいた。そんなこんなで無事に終わった家族懇親会、参加者の皆さんは楽しかったことでしょう。担当委員会の皆様お疲れ様でした。

＜そんな男の一人言＞

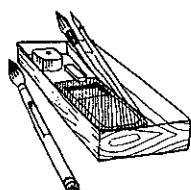
そもそも家族懇親会とは、日頃おろそかにしている家族とのふれあいを深め、同時に協会活動を理解してもらうことを趣旨としているのだが、家族を連れていかない者にとっては、また別の意味合いを持っている。正直言って、この日は年に一度のつらい一日でもある。いつもは飲んだくれている面々が、この日ばかりはしっかり父親の顔をしているのが、やけたまぶしく映る。荷物を運ぶ彼の足もとに子供がまとわりついている。すぐ後ろから来る妻が、何やら声をかけている。そんな様子をながめながら、僕はとぼとぼついていく。彼らが一体どんな思いで今日この時を過ごしているのか知るよしもない。彼は前日の残業で疲れている様にも見える。妻は姑との関係で悩んでいるのかもしれない。そんな事はおかまいなしに無邪気にはしゃぐ子供等……。だが、僕にはそれが、なんだかすごく幸福そうに見える。羨ましいな、と思う。

独り身の自分を、ひどく侘しく思う。ひょっとしたらこの感情こそが、僕が協会活動の中で学ぶべきことなくじゃないか、とも思う。

高島と訪ねたのは今回が初めてだったが、思った以上に過疎が進んでいた。島のいたるところで昔の栄光と現在の衰退とのギャップを見ることが出来る。それが僕を感傷的にさせたのかもしれない。

昼食で飲んだビールは、いつもよりほろ苦く感じた。㊪

ゆいごんしょ 有意言書（卒業するにあたって）



来年3月で卒業予定の皆様にこれだけは会員に言い残したいという思いをおおい書き残してもらおうという企画。

H2.4入会 会員室長 荒内賢治

私は、平成2年4月入会しましたので、9年目になります。この9年を振り返って思うことは、やはり青年協会に入って本当に良かったと言うことです。

入ったからには事業にはできる限り参加してきました。また例会や委員会後の懇親会にも先輩方にくつついて参加しました。やはり早く自分を多くの先輩方に知ってもらいたかったという思いと、また事業では仕事とは違った地域社会への貢献と皆で力を合わせて1つのことを成し遂げられた喜びがあったからだと思います。もちろん、これまでに経済的、時間的、肉体的に多少無理もしました。それで会社の上司はいやみを言われたり、夫婦げんかもありましたが、これも自分の自己の研鑽のために必要でと思っています。(古い考え方かもしれません)。そして、いろいろな人達との出会いという財産を得ることができました。

最後に、懇親会への参加が人と親しくなる早道だと思いますが、決して我を忘れないようにして下さい。私もたいへん反省しております。

それから、せっかく会費を払って入会した協会だから、自分のために積極的に参加してみて下さい。必ず結果が後からついてきます。どうか、楽しんで下さい。そして喜びを感じとて下さい。

----- オイにも -----

酉暦2000年を考える

その4回目

『市民ワーキンググループなるもの発足！』

日蘭担当 石田則広

昨、3月日蘭交流400周年記念イベント検討委員会が終了したことは皆さん御周知の事実であると思う。そこでは早速、実行委員会へ移行するものと思われたが、なんとここまで来て、あとワンクッシュン、市民ワーキンググループなるものが忽然と現れたではないか。

そりやなんじゃ、ちゅうことで出かけてみた。

集まつたる連中は半分同じ（検討委員会と）で、半分新しい顔。女の子がいる。しかも若い。一人ではない、4～5人はいるぞ。（私はこうゆう会議でこんなに若い女性は初めてお目にかかった。）ま、とにかく主旨はこういうことだ。

1. 会の性格。この参画に賛同する方で構成する自主研究グループ。
2. 会の役割。去る検討委員会の方向性を踏まえ、イベントを選定、評価、推奨をする。
3. 会の運営。会はリーダーが召集。庁内ワーキングチーム（若い女性は多分ここの方と推測した。）も参画する。

（本文はとにかく長いので主要な内容のみの掲載あります。もっと詳しく知りたい方は事務局に資料があります。）

で、結局何をするかと言うと、推奨イベントを10～15に選定し、実行委員会役立準備会に進言をする。というものらしい。

選定と言うと聞こえがよろしいが、実際は削除である様に思えて、あるアイデアフラッシュ（本当に根もないフラッシュも中にはあるが。）を根拠、背景も聞かずに、カットされていく様子を見ているといったまれば、他に隠された部分があるよう思えてならない。これはほんの、私の思い違いであってほしいなあ。

岩崎 直哉OB コンペで優勝！

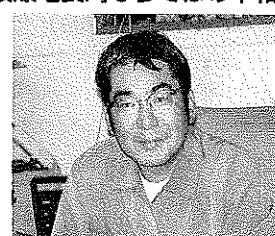
「ナガサキ
よかもん」



の特産品も発信します。

これからは、目にされる機会も多いことでしょう。その岩崎OBですが在籍されたのは5年ほどで、今はNYAとあまり接点はなく、同年代のOBの方々とお会いする程度とおっしゃられていましたが、これを機会に現会員との交流をしていただけたらと思います。

長崎市ブランド振興会の設立にともない、デザイン・キャッチコピーのコンペがおこなわれた。そこで優勝されたのが、岩崎直哉OB（H.4卒）である。長崎市が今後、「長崎ブランド」に認定した特産品をPRしていく上で多方面に使用されるそうだ。コンセプトは大・中・小の三つの弧は長崎の象徴「出島」をかたどっており、電波の様に無限に拡がるデザインになっています。色は長崎らしいマリンブルーと赤の配色（長崎のハタ・オランダ国旗）に被爆地長崎ならではの平和の色である緑を真ん中に配しています。出島から新しい文化が花開いたように、長崎



言わせろ!!

目指せ 満点 委員会

地域活性委員会の巻

今回は、「長崎みなとまつり」を前に妙に殺気立っている西口事業室長を頭に大石委員長、高見副委員長、桜井君、一ノ瀬君、福田君、飯塚君の6名の出席だった。11名中6名とやや淋しかったものの、皆何やら楽しそうだった。



今回の得点 **54.545454%**
委員会に コヨ コヨコヨコヨ
でした。

ますますでしょう。

同好会案内

►ゴルフ同好会 ●第一回和田会長杯

6月28日、長崎空港カントリー倶楽部に於いて行われた。

優勝 竹中 悟OB 2位 黄 醒博OB
3位 ミセス 黄、たくさんの御参加ありがとうございました。第2回も企画していますのでよろしくお願いします。
P.S. 現役会員、上位入賞めざしてがんばれ!!



►球栄会情報

・6月11日 VS ブレッカーズ戦 惜敗 • 6月22日 VS レッドデビル戦 中止

詩上法人長崎川柳協会（題：なつ）

今日は地域事業委員会の皆さんです。

夕立で ブラガスケスケ 男立(起)つ
(そんくらいで立つな)
夏の入り 協会活動 真っさかり
(by テーブルダンサー)
夏の海 家内子供に 目が行かず
(海は良かね~っ!!)
お姉さん 下着じゃないのに シースルー
(夏は良かね~っ!!)
海へ行き 胸の谷間で おぼれたい!
(だっちゅう~の!!)

夏の路 薄着姉ちゃんで 事故増える!!
(脇見気を付けて) お前もなっ!!
船遊び 横振り水は 牧島
(こりや俳句じゃ!!)
夏休み なつかしい顔 あつまりし
(このようになつという文字を入れて下さい)
なつちかし ビールばらが うらめしい
(運動せろ)

長崎青年協会の知ってるつもり

NYAの夏のイベントといえば、今では「長崎みなとまつり」への参加である。

ターザンコンテストをはじめ、海に飛び込む、海に入って遊ぶと言うコンセプトの元市民参加型のいくつかのイベントを行なっている。

「長崎みなとまつり」への参加は、他団体の呼びかけもあり平成6年桑田会長の時だ、この年は警備・清掃を行った。その警備・清掃がいやだったわけでは無いだろうが、NYAの内部では、あるフラストレーションがたまっていた…。

そして翌年、平成7年度新ヶ江会長は就任時、「内部充実をはかりたい。」と言う思いから「長崎みなとまつり」との係わり合いの方も再検討された。

つまり内部充実の為に、「対外的な事業には不参加も考える。」と言うことだった。そういう話し合いの中で前年度のフラストレーションが一気に爆発した。

そのフラストレーションとは、もっと「長崎みなとまつり」に注目してもらいたい。そして港(海)にこだわり、市民を巻き込んで独自のNYAならではの事業をすることで「長崎みなとまつり」のお手伝いをしたいと言う思いであった。

そこで早速プロジェクトが組まれた… 会長の初心とは大きな方向転換であったとは思うが。プロジェクトでは逆バンジー他いろいろなプランも上がったが最終的には「ターザンコンテスト」「とっとと」なる海上アスレチックの2競技にきつた。しかしここで大問題が発生した。あの場所(松ヶ枝岸壁)で泳いではいけないと言うことだった。

そこで関連団体とコミュニケーションをもちながら、NYAの思いを理解してもらい「長崎みなとまつり」の時に、海を使って遊ぶことが出来るようになった。テストジャンプも福田の海を使って行われ準備も整い、さて当日ここでちょっとしたハプニング、開会式の挨拶で市長からJCと間違われた、もちろんすぐ言い直されたがこれは単なるいい間違いか? それともNYAの知名度・印象度の低さを物語るのか……と、そんなこともあったがイベントも大盛り上がりで、無事終了…と言ってもターザンは成功と言えるだろうが海上アスレチック「とっとと」の参加者はたったの1~2名だった。参加者募集の難しさは今なお残る問題点である。しかし結果的には対外的な事業を行い、NYA独自の企画事業をすることで内部充実も図ることが出来、会長の思いもかなうこととなった。

現在、「長崎みなとまつり」の中で行われている職域対抗ペーロン大会への参加は、昭和62年、森山会長の時から始まった、この頃は「長崎海のフェスティバル」のタイトルで行われていた。当時はNYAの担当は海上イベントではなく「おくんち広場」でつちかた「お化け屋敷」や「ゲームブース」などを出店していた。又、何処かでイベントがあると出店要請があり、出向いた事もあつたが「ちょっと待てよ、NYAはテキヤじゃなかつぞ!!」と言う事から、イベントへの出店はなくなつていった。これもNYAのこだわりだ。これからもNYAとして情熱を持ってこだわっていってほしいものだ。

